

講義科目名称： 母性看護学特論

授業コード： 6630300100

英文科目名称： Advanced Maternal-Infant Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択 助産師必修
担当教員			
◎常盤洋子			
添付ファイル			

授業種類	<b>【開講】</b> 前期 <b>【授業時間】</b> 30時間 <b>【担当教員】</b> <b>【氏名】</b> ◎ 常盤 洋子 <b>【所属】</b> 新潟県立看護大 <b>【研究室】</b> 320 <b>【メールアドレス】</b> yotokiwa@niigata-cn.ac.jp <b>【本学の科目区分】</b> 専門分野  <b>【DP1】</b> ◎ <b>【DP2】</b> ○ <b>【DP3】</b> ○ <b>【DP4】</b> ○ <b>【DP5】</b> <b>【DP6】</b>		
到達目標	1. 母性・父性意識の概念、親になるプロセスと親役割理論、母親役割獲得に関する理論を説明することができる。 2. 母子のアタッチメント理論、母子関係理論を理解することができる。 3. Transition theory、アイデンティティ発達理論を説明することができる。 4. 母性看護で用いられる理論の本質と意義を説明することができる。 5. 母性看護学の基盤となる理論の臨床活用について述べるができる。		
授業概要	母性看護学の基盤となる理論に関する研究論文や原著を精読し、母性看護学・助産学研究や母性看護の実践への活用についてのディスカッションを通して、理論の本質や母性看護学・助産学研究の枠組みについて考察する。		
授業計画	1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：母性看護学・助産学研究の基盤となる母性の概念 学修内容：母性になること、母親役割の獲得過程の理解 備 考：常盤 2 授業内容 授業形態：講義 学修課題：アタッチメント理論、母子関係理論の理解 学修内容：愛着理論の概要とサークル・オブ・セキュリティ理論、母子関係理論と臨床活用 備 考：常盤 3 授業内容 授業形態：演習 学修課題：母親になること・母親役割の獲得過程・アタッチメント理論・母子関係理論の理解 学修内容：母性・父性意識の概念、親になるプロセスと親役割理論と臨床活用 備 考：常盤 4 授業内容 授業形態：演習 学修課題：母親になること・母親役割の獲得過程・アタッチメント理論・母子関係理論の理解 学修内容：愛着理論の概要とサークル・オブ・セキュリティ理論と臨床活用 備 考：常盤 5 授業内容 授業形態：発表・討論 学修課題：母親になること、母親役割の獲得過程の理解 学修課題：Maternal identity を構成する要素と母親役割獲得に関する理論と臨床活用 備 考：常盤 6 授業内容 授業形態：講義 学修課題：Transition theory、アイデンティティ発達理論 学修課題：Transition theory、アイデンティティ発達理論の理解と臨床活用 備 考：常盤 7 授業内容 授業形態：演習 学修課題：Transition theory、アイデンティティ発達理論 学修課題：Transition theory、アイデンティティ発達理論の理解と臨床活用 備 考：常盤 8 授業内容 授業形態：発表 学修課題：Transition theory、アイデンティティ発達理論		

	9	学修課題：Transition theory、アイデンティティ発達理論の理解と臨床活用 備 考：常盤 授業内容 授業形態：講義 学修課題：危機理論の理解 学修課題：危機理論と臨床活用 備 考：増澤
	10	授業内容 授業形態：演習 学修課題：危機理論の理解 学修課題：危機理論と臨床活用 備 考：増澤
	11	授業内容 授業形態：発表 学修課題：危機理論の理解 学修課題：危機理論と臨床活用 備 考：増澤
	12	授業内容 授業形態：講義 学修課題：行動変容ステージモデルの理解 学修課題：行動変容ステージモデルの5つの概念と臨床活用 備 考：増澤
	13	授業内容 授業形態：講義 学修課題：保健行動理論の理解 学修課題：保健行動理論と臨床活用 備 考：増澤
	14	授業内容 授業形態：演習 学修課題：行動変容ステージモデルと保健行動理論の理解 学修課題：保健行動理論と臨床活用 備 考：増澤
	15	授業内容 授業形態：発表 学修課題：保健行動理論と臨床活用 学修課題：保健行動理論と臨床活用 備 考：増澤
事前・事後学習		事前学修：母性看護学に関する諸理論に関するプレゼン資料作成の準備 事後学修：母性看護の基盤となる理論の母性看護の実践および研究への活用について考察する
評価方法、評価基準		到達目標 1～5に対して、授業および討論への主体的参加を重視し、プレゼンテーション50%、レポート50%より評価する。
テキスト		最新の論文や文献を使用するため、テキストは現時点では指定せず授業内で案内する。
参考図書・資料等		ルヴァ・ルービン、新藤幸恵訳（1997）：『母性論 母性の主観的体験』，医学書院。 ボウルビィ、二木武監訳（1993）：『母と子のアタッチメント 心の安全基地』，医歯薬出版。 数井みゆき（編）（2012）：『アタッチメントの実践と応用 医療・福祉・教育・司法現場からの報告』，誠信書房。 Reva Rubin（1984）：Maternal Identity and the Maternal Experience, Springer Pub Co. John Bowlby（1988）：A Secure Base, Routledge. Afaf Ibtahim Meleis（2010）：Transitions Theory, Springer Publishing Company.
受講、課題、資料配布等のルール		欠席の場合は必ず指導教員に事前に連絡をする。 プレゼンテーションを行う学生は、授業前に人数分のコピーをする。 プレゼンテーション、ディスカッションは学生が進行する。 母性看護学・助産学の基盤となる理論に関する論文や文献を活用してプレゼンテーション資料を作成する。
教員からのメッセージ		母性看護に関する理論をより深く理解するための科目です。理論を読み解くには時間がかかりますが、一つひとつの語句や文章を丁寧に読むことで、理論の本質把握を試みます。
オフィスアワー		在室時は可能な限り対応します。事前にメール等で調整してください。